

公益社団法人 河北町シルバー人材センター
平成 27 年度 事業報告

概 要

少子高齢化が進行し、人口の高齢化と総人口及び労働力人口の減少が一層進む社会を迎え、社会の担い手として高齢者に対する期待がより一層高まってきています。

しかしながら、日本経済の長引く景気停滞がいまなお続くなかであって、中高年齢者を取り巻く雇用情勢については厳しい状況になりました。

このようななかで、事業計画に基づき「自主・自立、共働・共助」の理念のもとに、会員の誠実な就業をはじめ、全会員による普及啓発促進活動、役職員による地道な就業開拓活動、各地区会員による会員勧誘や奉仕活動などを積極的に取り組んでまいりました。

その結果、受託事業については一般企業等の回復があり、会員数 208 人、就業延人員 23,636 人日、契約金額においては前年度比 4.4%増の 9,669 万円となりました。これもひとえに、会員の方々をはじめ、町行政当局、関係機関各位のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

実施事項

1 普及啓発促進活動の充実

- (1) センター広報誌「シルバー河北」第 60 号、第 61 号を全戸配布した。
- (2) 町の「広報かほく」に会員募集・入会説明会の記事掲載を行なった。
- (3) 普及用パンフレットを 2 回全戸配布した。
- (4) ハガキ大のご案内を企業等に配布活用した。
- (5) 役職員はグループに分かれて事業所訪問を行なうほか「ほくほく祭り」の会場でセンターの PR 活動に努めた。
- (6) 会員による奉仕活動を行なった。
 - 「シルバーの日」に町内全地区会員による谷地どんが祭り会場の除草
 - 西里・元泉地区会員による農村環境改善センターの除草
 - 溝延地区会員による溝延城址公園の除草
 - 谷地地区会員による谷地ひな祭り会場の清掃
 - 谷地中部地区会員による児童動物園等の除雪
 - 谷地南部地区会員による荒町東公園の除草
 - 谷地西部地区会員による紅花資料館内の除雪

2 会員加入の促進

- (1) 会員の口コミによる「一会員一名勧誘活動」を行なった。
- (2) 毎月第 1 水曜日に入会希望者説明会を開催し、27 人の方が来所した。
- (3) 役職員は会員の勧誘を行なった。
- (4) 会員勧誘による入会について、謝礼制度を設けた。

3 就業機会の開拓と就業率の向上

- (1) 役職員は民間企業の事業所を訪問し、就業機会の開拓を行なった。
- (2) 会員は自ら就業の場の開拓を行なった。

- (3) 就業機会開拓推進員を配置し、就業機会の掘り起しを行なった。
- (4) 未就業会員に対し、毎月発行の「シルバーだより」で就業を呼びかけた。
- (5) 女性会員対象に就業相談会を開催し、就業率の向上に努めた。
- (6) ポスティング業務の定着と、屋内と屋外就業の連携を図った。

4 安全適正就業の推進

- (1) 安全適正就業講習会 1回
- (2) 安全就業に関する標語の募集 1回
- (3) 安全就業パトロール 2回
- (4) 「安全就業」の配布と周知 5回
- (5) 機械・器具の安全点検と整理整頓 1回
- (6) 安全対策員による安全指導 就業時

5 センター独自の講習会、研修会の実施

次の講習会を開催し、技術と技能の向上を図った。

- (1) 草刈り講習会 (1日間)
- (2) 毛筆筆耕講習会 (6日間)
- (3) 料理講習会
- (4) 「交通安全ゆとり号」による運転者適性診断

次の研修会を開催し、シルバー人材センター理念の浸透を図った。

- (1) 新会員研修会 2回
- (2) 地区別会員研修会 (西里・元泉地区、溝延地区、谷地中部地区、谷地南部地区、谷地西部地区)
- (3) 各職群班研修会 7回
- (4) 役職員等合同会議
- (5) 職員研修

6 企画提案方式事業の実施

- (1) 植木手入れ講習会 (雪囲いを含む) (2日間)
- (2) 障子・襖張り替え講習会 (5日間)
- (3) 健康教室 (1日間)

7 一般労働者派遣事業への取り組み

今年度は移動図書館車の運転業務と食品会社の製造補助及び運搬業務関係で県の連合会と連携しながら実施事務所として取り組んだ。また、来年度の事業拡大に向けて公共施設関係に積極的に営業活動を行なった。

8 独自事業の実施

これまでのわらじ製作に加え、全国奴行列文化財連絡協議会井上会長のご協力を得て販路拡大に努めた結果、県外団体への販売が実現した。

9 シルバーワークプラザの活用

会員の働く拠点としての作業室をはじめ、研修室、技能訓練室、会議室、製作品展示室等を大いに活用し、センター事業の円滑化に努めた。